

# 第27回 棚田学会談話会 人びとの暮らしと棚田

(講演とくるま座討論会)

日時 2014年4月19日(土) 13:20~17:00 (受付 13:00より)

会場 早稲田奉仕園 セミナーハウス 6F 1号室

## 講演① 棚田への想いを写真に込めて

講演者 永田 博義 氏 (棚田写真家)



1938年 長崎県生まれ  
1964年 東京電機大学電気工学科卒業、同年都立本所工業高校勤務  
1969年 東京電機大学大学院修士課程修了  
1986~1998年 茨城職業能力開発短期大学校勤務  
写真歴  
1956年 アルバイトでDPEに興味 1976年 写真家前田真三氏に邂逅  
1980年 東京都職員写真展特別賞受賞 写真集「本土寺の四季」  
「借楽園逍遥」 絵葉書「日本の棚田 I、II」など出版・作品発表多数

### 講演の概要

米作りは弥生時代に始まった。以来、先祖たちは長年月におよぶ苦労を重ね、棚田を築きあげてきた。故に棚田は、先祖たちが自然と共生してきた歴史を語ってくれる。棚田は米を作るだけでなく、洪水や土壌浸食を防ぎ、水源を守り、多様な生きものたちを育ててきた。その様は山紫水明な風景に凝縮されて日本人の心に響き、律儀で勤勉な人作りに寄与してきた。しかし、棚田の低い生産性は近年の経済優先政策に一蹴され、棚田地域は「限界集落」とも呼ばれるようになり、都会人の心象風景とは懸け離れている。人は未来永劫、農と無縁ではありえない。私たち日本人の心を育み、癒してくれる農村風景は後世に残すべき宝と考え、「棚田よ残れ」、「山里の風景よいつまでも」という思いで撮影を続けている。

## 講演② 棚田と流域と女衆(おなごしよ)と

講演者 里村 洋子 氏 (ノンフィクション作家、エッセイスト)



1946年秋田県生まれ 宇都宮大学農学部卒業  
著書に『画廊たべ「絵のある茶の間」物語』(刊行委員会) 『動き出す山古志の衆』(アートヴィレッジ) 『安田の唄の参ちゃん』(冥途のみやげ企画) 『洋裁の時代』(農文協) 『女中がいた昭和』 『少女たちの昭和』(以上、河出書房新社 共著) 『にいがた 流域に行く』(新潟日報事業社 共著) 他多数 新潟日報にコラム「キリギリスの Tea Time (イラスト:伊藤希代子氏 2012年7月~2014年2月)」を執筆  
第34回農民文学賞受賞 流域交流ネットワーク会員 新潟市在住

### 講演の概要

蛇口をひねれば当たり前のように水が出る日々。でも、はじめの1滴を育む山里が過疎高齢化・耕作放棄地増加に直面して久しい。

こうした問題を、川の上・中・下流という「流域」の視点と、そこでコツコツがんばっている女性のまなざしから考えてみることはできないか。「流域」にはそれぞれに、大地に息づく歴史や文化や伝統芸能やおいしい食べ物や元気な女衆がいるから。それが連携し、棚田への思いが膨らめば。

くるま座討論会 司会：安井一臣（棚田学会研究委員会幹事）

コメンテーター

永田 博義 氏（前出）

里村 洋子 氏（前出）

高橋 久代 氏



1951年 東京下町生まれ。料亭が並ぶ町で育つ。1978年 演劇活動開始  
1983年 日本中を旅する劇団ふるさときゃらばんで役者、制作を経て、第  
1回棚田（千枚田）サミット（'93）、棚田パノラマ体験展（'99 日本橋三越）  
の企画・制作スタッフを務める。それ以降、全国棚田（千枚田）連絡協  
議会の機関誌「ライステラス」の編集に携わる。棚田学会創設以来、事  
務局担当。劇団新生ふるきやら所属。

松澤 徹 氏



1972年 東京都三鷹市生まれ。早稲田大学教育学部助手を経て、2004年  
から早稲田大学高等学院教諭。専門は日本中世史。  
大学時代に中島峰広教授（前棚田学会会長）の薫陶を受け、大学院時代  
は海老澤ゼミ（海老澤衷教授・早稲田大学文学学術院）に属していた関係  
で、文化的景観としての棚田保全の大切さに早くから目覚め、創設時より  
の棚田学会会員。現在、棚田学会評議員。

参加費 無料

懇親会 サイゼリア西早稲田店（会場より徒歩3分 参加費 2,500円）

会場案内 (<http://www.hoshien.or.jp>)

1. 電車利用の場合 JR山手線または西武新宿線 高田馬場駅より徒歩 20 分  
地下鉄東西線 早稲田駅より徒歩 8 分  
地下鉄副都心線 西早稲田駅より徒歩 15 分
2. バス利用の場合 JR山手線または西武新宿線 高田馬場駅より早大正門行  
西早稲田バス停下車 徒歩 5 分

お問い合わせ 棚田学会事務局 E-mail: [tanadagakkai@gmail.com](mailto:tanadagakkai@gmail.com) FAX : 042-385-1180

参加申し込み 氏名、連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX でお申し込みください

談話会参加申し込み

談話会  懇親会（希望事項に☑をお入れください）

氏名 \_\_\_\_\_  会員  学生  一般

連絡先 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

E-mail \_\_\_\_\_